

令和8年度 協働事業提案制度 ええやん！やってみよっ！ 審査結果一覧表

	団体名	フリガナ	提案事業名	事業概要	コース	交付申請額	結果	交付決定額
1	三田子どもの本ボランティア プーの会	サンダコドモノホンボランティア プーノカイ	三田の子どもたちに豊かな本との出会いを。	三田の子どもたちが、良書と出会い、楽しい読書体験ができる場所を作ることを目指している。毎月三田市立図書館でお話会を行い、年に一度は本のお祭り「ブックフェスタ」を開催している。ブックフェスタでは、子ども時代にぜひ読んでもらいたい本を厳選して展示し、絵本の読み聞かせやストーリーテリングを聞いて、本を通じた楽しさと喜びの分かち合いを体験してもらう。また、図書ボランティアの学びのための講座の企画を考えている。	スタート	100,000円	採択	100,000円
2	おくりもの	オクリモノ	夢を描く、子ども絵本共創プロジェクト	子ども達が、社会のルールや枠組みに縛られず、個々の世界を広げ「自分の将来に期待する」心を育む絵本を制作します。療育・保育の専門家と連携し、子どもの個性を肯定するメッセージを形にします。完成後は、キッピーモールや図書館、保育園での読み聞かせ会を通じて、親子が繋がり、多様な個性を認め合える地域コミュニティの形成を目指します。	スタート	100,000円	条件付き採択	100,000円
3	三田美食アーカイブ・プロジェクトチーム	サンビショクアーカイブ・プロジェクトチーム	三田美食アーカイブ・プロジェクト 一次世代に繋ぐ「美食のまち」の文脈と発信素材の構築	本事業は、三田の一流料理人と地場食材が連携する特別食事を隔月で開催し、その技術や食材の背景、歴史文化をプロの視点で「アーカイブ化（冊子・動画）」するプロジェクトです。単発で終わりがちな食の知見を市の資産として体系化し、ふるさと納税や観光振興の広報素材として活用します。これを基盤に、将来的な大規模美食フェス開催や、持続可能な「美食のまち三田」のブランド確立と地域経済活性化を目指します。	スタート	100,000円	採択	100,000円
4	Po í ēsis lab	ポイエーシス ラボ	三田市民の暮らし実態調査および暮らしの手引き作成事業	三田市内で異なる暮らし方をする6タイプの市民（出自・車の有無・生活圏の3軸で設計）計12名に話を聞き、リアルな暮らしの声を記録・まとめる。移住を考える人が「自分と似た人の体験談」として読める冊子「暮らしの手引き」（50部）を、移住定住促進課と連携しながら作成・配布します。	スタート	100,000円	条件付き採択	100,000円
5	ふるさと再生部会	フルサトサイセイブカイ	高平移住定住促進事業	過去10年で約43名の移住を受け入れてきた実績を基に、移住後の「暮らしのミスマッチ」を防ぐためのガイドブックを作成・配布する。単なる物件紹介に留まらず、地域特有のルール（草刈り・自治会活動等）や先輩移住者の声を可視化する。専門的ノウハウを持つ事業者と協働し、移住希望者が「地域の一員」として参画する意識を醸成するツールとする。	ステップアップ①	200,000円	条件付き採択	200,000円
6	やってみたいスクール実行委員会	ヤッテミタイスクールジッコウインカイ	「やってみたい」が日常になる街づくり～三田町周辺エリアでの分散型実践フィールド構築事業～	本事業は、過去のイベント型支援を「地域の日常」へ進化させる試みです。コンビニ周辺の民間店舗を「やってみたい拠点」として開放し、店主を伴走者（応援員）として養成。イベントという非日常だけでなく、市民が日常的に小さな挑戦を始められる環境を街中に分散型で構築します。市と協働し、活動を各拠点での掲示等で可視化することで、三田市全域に「挑戦と応援の循環」を広げ、住みがいのある街づくりを推進します。	ステップアップ①	200,000円	採択	200,000円
7	IRODORI	イロドリ	Caféから始める認知症予防	月に1回、第2金曜日13:30～15:30まで 南が丘のコタニ住研ショールームにて 認知症カフェを開催しています。（予約不要・参加費100円お茶とお菓子付き）認知症マップの作成やアロマハンドマッサージ 箱庭療法やミニ健康講座などを開催し、認知症の方だけでなく 地域の方々とのコミュニティの場としても展開しています。その他福祉イベントを開催し、認知症についての啓蒙活動を行い、認知症でも安心して暮らせる地域を作ることを目指して活動しています。	ステップアップ①	200,000円	採択	200,000円
8	あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会 歩道環境再生チーム	アカシアダイショウガッコウク マチツクリレンラクキョウゴカイ ホドウカンキョウサイセイチーム	歩道環境の再生を目指したまちづくり	市道・北摂中央1号線は重要景観道路と位置付けられている。しかし、近年は、歩道植栽の低木の枯れや雑草繁茂が進行し、景観の悪化、歩行者の通行の妨げなどが問題となっている。この問題解決のために、令和7年度に活動を開始し、防草対策の実証実験、学習会、および歩道環境再生構想策定に取り組んだ。令和8年度は、①雑草駆除イベント開催、②実証実験の継続、③住民意見交換会、④歩道環境再生構想のアップグレードを行う。	ステップアップ①	200,000円	採択	200,000円
9	NPO法人さんだアートガーデン	エヌピーオーホウジンサンダアートガーデン	「さんだアート倉庫」事業化調査	関西広域の文化財保管に寄与する大規模な先進的アート倉庫施設を三田市に建設する将来構想を背景とし、その第一歩として「民俗資料」に着目して三田市歴史資料収蔵庫に保管されている民俗資料関連収蔵物のデジタルアーカイブを作成する。更に、「民俗資料」の一つとして、三田の民話を、多くの人に楽しんでもらえるようにデジタル紙芝居の形に作り替え、公開のうえ、デジタルアーカイブとして保存する。	ステップアップ①	200,000円	条件付き採択	200,000円
10	一般社団法人里であそぼう	イッパンシャダンホウジン サトデアソボウ	SANDA ORGANIC VILLAGE MEETING	「SANDA ORGANIC VILLAGE MEETING」は、三田市を身近にオーガニック溢れる街にする」を掲げ、都市部と農村部、市民と農家を繋ぐ架け橋となります。具体的には、①農作業体験や伝統行事を通じた多世代交流、②食育キッチンや上映会・講演会による知識啓発、③ピクニックやオーガニックデイなどのマルシェによる賑わい創出を展開します。これら「体験・学び・祭り」の循環により、三田市の豊かな農環境を活かした持続可能な地域コミュニティを醸成します。	ステップアップ②	200,000円	採択	200,000円
11	Sunpeace	サンピース	「三田空襲を忘れない」リバイバルプロジェクト	第二次世界大戦末期に三田市にも空襲があり被害者が出たことを現在そして未来に伝えていくために当事者からの聞き取りを元に演劇の脚本を作り、若い世代に上演してもらい、同世代に広く伝えていく。	ステップアップ②	200,000円	採択	200,000円
12	SANDA D TEAM	サンダ ディーチーム	ドローンを用いた福祉活動 3	「三田をドローンの街にしませんか？」 昨今耳にするドローンのニュースは悪いものばかりで良い印象を受けません。しかし、ドローンも車と同じでルールを守れば生活を豊かにしてくれる道具です！そういった悪い印象を払拭するには、まずドローンについて「正しく知る」ことが大切です。私たちはそんなドローンを皆様にご存知いただくために活動しています。	ステップアップ②	200,000円	採択	200,000円